

「白樺並木いつまでも計画」

～2022年度みんななか活動報告会～

みなさまに親しまれている、通称「白樺並木」（中標津高校～中標津保健所間）は、中標津の発展の礎となった旧北海道農事試験場根室支場（昭和2年（1927年）開場。現、酪農試験場）の場内通路に植樹されたもので、当時から現存するシラカバはまもなく樹齢100年を迎えます。

一般的にシラカバは「植えた場合20年から30年が限度」といわれています。昨年並木の本数や配置を調査し樹木医に診断していただいたところ、シラカバの樹齢や並木になっていることが、とても珍しいと評価されました。



しかし、老木化したシラカバは倒木の恐れがあるため、町と連携し昨年一部伐採しました。順次伐期を迎える「白樺並木」について、みなさんと一緒にこの歴史ある並木の特徴や価値を学び、まちの財産であるこの景観を後世に引き継ぐため考えてみませんか？

記

「白樺並木いつまでも計画」～2022年度みんななか活動報告会～

- ・日時：2023年2月11日（土・祝） 13:30～15:30（2時間）
- ・場所：中標津町総合文化会館（しるべっと）2階 第2研修室A
- ・内容：①白樺並木の樹木調査結果の報告
②樹木医 金田正弘氏による評価報告（オンライン）
③意見交換

・申込期限

2023年2月9日（木）まで

金田正弘氏プロフィール

- ・1947年夕張市生まれ
- ・2001年財団法人日本緑化センター認定樹木医
- ・2003年グリーンコンサルタント緑の総合研究所（苫小牧市）設立
- ・一財 日本樹木医会北海道支部 支部長

主催：みんなの景観なかしべつプロジェクト

共催：中標津町 後援：公益財団法人 北海道地域活動振興協会

【申込用紙】

参加者氏名	連絡先
所属	

中標津町役場 FAX73-5333 電話 73-3111（内線 353）

メール toshikeikaku@nakashibetsu.jp

※電話やメールでの申し込みは必要事項をお伝えください。